

平成23(2011)年4月9日第87号

# 学校だより

## 第40回入園・入学式を挙

### 〈入園・入学式の朝〉

4月2日(土)、平成23年度、入園入学式が補習校オードトリウムで挙行されました。卒業式から2週間しか経っていませんでしたが、学校にとって最も大切な儀式を経験した事から、園児も児童生徒も一回り成長した姿となって式典に臨みました。

早朝、7時過ぎには先生方が出勤され、手際よく会場設営に取りかかり、8時過ぎには、ほぼ準備ができました。

放送室前のスペースで新入園・新入学児童生徒の受付がPTA役員やクラス委員さんによって行われました。

8時15分から、新年度第1回目の職員朝礼を行いました。川瀬裕司運営委員長さんにもこの朝礼に出席していただき、「補習校児童生徒のためにがんばっていただきたい」との激励の言葉を頂戴しました。教職員全員でこれからの1年間の健闘を期して、川瀬委員長の発声の下、「一発締め」の拍手をしました。

### 〈始業式・新任式・担任紹介〉

入園・入学式に先立ち、始業式と新任教師の紹介、学級担任の発表を行いました。次いで、定刻9時30分から式典が開始されました。

会場は在校生、来賓、保護者でいっぱいになり、座席のない保護者の方々も沢山いらっしゃいましたが、オードトリウムの座席数より参加者数が多いので仕方ありませんでした。

### 〈入園・入学式〉

大きな拍手が鳴り響く中、緊張した面持ちの新入園児、新入生が担任に引率され入場しました。

日米両国歌の斉唱があり、新入園児、新入生の氏名点呼が担任によってなされました。新入園児の返事は緊張感からか小さいものでしたが、小学部、中学部、高等部と点呼が進みますと、大きな声で返事がありました。

式は、学校長式辞、来賓祝辞、在校生歓迎の言葉、新入生の言葉と続きました。

始業式から入学式の終了まで、1時間でした。

その後、新入園児、新入生は保護者と一緒に記念写真の撮影がなされました。

## ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077  
Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)  
Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

### 〈新入園児・新入生入場〉



〈学校長式辞〉

〈来賓祝辞・渡部総領事代理〉



〈来賓〉

〈保護者〉



〈国歌斉唱〉



### 〈始業式・入学式準備〉



歓迎の言葉、式辞等は別紙に掲載しています。  
新入生の健康と学業成就を祈念致します。

## 来賓祝辞



### 渡部隆彦総領事代理

東日本大地震による大惨事に対してのお見舞いの言葉があり、その復興に政府も自治体も多くの人たちががんばっていらっしやることのお話がありました。

次いで、新入園児に対しては、園での生活に慣れること、新小学部児童に対しては、本格的な勉強が開始されるので、がんばってくださいとのメッセージがありました。また、中高生に対しては、その時代があつという間に過ぎるが、将来の生き方について悩むことなどが沢山あろうが、決してそのことが無駄になることはないので、精一杯学習に取り組むよう励ましの言葉をいただきました。そして、大地震で被災した日本を元気づけるようがんばってください、と祝辞をいただきました。(以上祝辞要約)



### 歓迎の言葉 小島愛佳

ようちえんのみなさん ご入  
えん おめでとうございます。  
みなさんは、「ほしゅう校って  
どんなところかな。」とちょっ  
としんばいでドキドキしている  
かもしれません

でも、まいしゅう土よう日 ほ  
しゅう校にくると、日本ごでう  
たをうたったり、あそんだり、

楽しいことがいっぱいありますよ。おともだちもたくさんできるし、先生もみんなやさしいから、だいじょうぶです。

これから なかよくしましょうね。

中学一年生のおにいさん おねえさん、ご入学おめでとうございます。中学校では、日本ごのべんきょうもむずかしいだろうなあとおもいます。げんち校とほしゅう校、どちらもがんばってくださいね。

そして、わたしたちともなかよくしてください。



### 歓迎の言葉 鈴木健将

新小学1年生のみなさん。ご入学おめでとうございます。

1年生ではかん字や、さんすうなど、たくさんべんきょうをします。につきをかいたり、きょうかしよをよんだり、そしてしゅくだいもあります。

でも、べんきょうばかりでは

ありません。休みじかんは、おにごっこをしたり、か

くれんぼをしたり たのしくあそぶこともできます。ともだちと日本ごをいっぱいはなすことができます。いろいろと、あたらしいことがまっています。わからないことがあれば、先生や、ぼくたちにきいてください。たのしい 一年生になるようにみんなでおうえんしています。

(新入生の言葉は次ページに掲載します。)

## 東日本大震災への支援についてのお願い

東日本大地震の発生以来、日ごとに犠牲者数が増大し、その被害の大きさは正に未曾有の状態です。また、原子力発電所から放射能漏れから、福島県を中心にして深刻な事態となっています。

そこで、別紙のように本校の中高等部が中心になって義捐金・募金活動等を始めることになりました。

活動の内容は、募金活動、Bake Sale、Car Wash、映画会です。日程的には、4月16日、23日、30日です。5月に入りますと、現地校の期末試験などの大切な時期となりますので、今回は、この3日間を予定しています。

保護者の皆様には、各々の立場でご協力をいただいているところですが、中高等部生徒の被災地に対する熱い支援の思いに対して、何卒ご支援ご協力賜りますよう御願ひ申し上げます。

また、映画会につきましては、制作者が今回の大地震の支援活動であれば、放映権などなしで協力したいとの了解を得ています。是非ともご覧いただき、ご支援をくださいますよう重ねて御願ひ申し上げます。

尚、活動経過については、その都度ご報告致します。

## ◆パトロール当番予定表4月16日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名	
★AM1 リーダー	高1	1 4	三沢輝璃	
		2	秋山大治	
		3	畑中正信	
	小1	4	2	岩森光毅
		5	3	ウイン建斗
		6	5	神 璃空
		7	6	福永悠道
★PM1 リーダー	小1	7	中川航希	
		2	9	吉浦慶悟
		3	1 0	エリオット秋
		4	1 1	横地実優
		5	1 2	木村 榛
		6	1 3	副田えみり
		7	1 4	田中彩乃



## 新入生代表の言葉 中学部1年 宮井日菜子



輝く太陽に木の葉の緑が照られ、まぶしいほどの季節になりました。そんな中、今日私は日本語補習校の中学1年生になりました。

私は、1年半前アメリカに来ました。英語がまったく分からず、現地校での生活は毎日がつらいものでした。そんな時、補習校に来て、日本語で話せることがどれほど嬉しかったか覚えています。そして、それと同時に初めて私は、自分の思いを不自由なく伝えられることのありがたさを知りました。その後もアメリカで学ぶ中、日本語を大切にしたい、日本の文化や歴史を学びたいという気持ちが次第に強くなるのを感じています。さらに、英語でも自分の思いをもっと伝えることが出来たらどんなに素敵だろうとよく思います。でも、現地校と補習校の勉強の両立は簡単なことではありません。苦しんだこともたくさんあります。いつも逃げ出したいくなります。けれども、この補習校には、そのつらさを経験にして、共感してくれる友達がたくさんいます。応援してくれる先生もいます。そのことを知った私は今、1年半前の私ではありません。

中学に入学する今日、チャレンジすること、最後まで逃げ出さないことを目標にしたいと思います。先生方、在校生のみなさん、どうぞよろしくお祈りします。



## 新入生代表の言葉 オブライエン恵理花

本日は、私たちのために、このような盛大な入学式を開いてくださりましてありがとうございます。これから、新中学生になるあたっの、抱負を話します。私は、二年半前、インディアナ州からヒューストンへ引越してきました。インディアナに住んでいたころも補習校に行っていました。

ましたが、私のようなハーフの子がいなかったので、友達もあんまりできませんでした。発表するときも間違えると思ひ手をあげたりもせず、行くのがいやになりました。それで、小学校を卒業したら、やめることにしました。だけど、ここに来てから、友達がたくさんでき、女子が少ないため、女子全員と仲良しになれました。インディアナでは女子が多かったので、みんなと一緒に話したり遊んだりすることはなく、ばらばらに遊んだり話しました。ヒューストンでは女子全員と一緒に話して、なかよくなったおかげで、もっと発表できるようになり、みんなの前で話すのも苦にならなくなりました。それで、毎週補習校へ行くことが楽しみになり、中学部へ進むこ

とにしました。あの引越しのおかげで、私は今、皆様の前でこのようなスピーチができることになったのです。新しい環境でもおそれることはないということを学び、勇気と自信を持つことができたのです。これから中学部という、私の新しい生活が始まります。でも、私はこの学びを生かして何事にも進んでチャレンジしていきたいと思っています。これからの三年間、私はがんばりたいことがたくさんあります。最初は、勉強です。国語は漢字が増え、数学の内容も難しくなるので、もっとがんばりたいです。それから中間テストや期末テストがあるので、もっと勉強しないといけません。全体的に難しくなるとは思いますが、がんばれば何でもできると思います。次は友達です。仲よしだった友達の一人がやめていくのは残念ですが、日本から来る転入生や、初めて同じにクラスになる女の子と仲良くなり、みんなで一緒に楽しい中学生を送りたいと思います。もちろん不安なこともあります。それは、現地校と補習校の両立です。現地校の授業はますます難しくなり、補習校の中学も難しいので、両方についていけるかです。だけど、友達同士で助け合い、はげまし合えば、絶対にやりぬけるとは思います。最後に、私たちが、このアメリカで、日本語の学習を続けることができる環境を整えて下さる補習校の先生方、関係者の方々、保護者の皆様、そして友達に感謝の言葉を送りたいと思います。これからも精一杯の努力をしてまいりますので、よろしくお祈りします。



## 式 辞

ヒューストン日本語補習校第39回入園入学式を挙

行するにあたり、在ヒューストン日本国総領事館 渡部隆彦様総領事代理ご夫妻を始め、ヒューストン日本商工会秋葉慎一郎会長ご夫妻、本校運営委員会川瀬裕司委員長、PTA役員、ご来賓各位、保護者の皆様のご臨席を賜りましたことにつきまして、心から感謝申し上げます。

さて、今ほどの氏名点呼をもって、正式に本校の園児・児童生徒として認証されたこととなります。40名の園児の皆様、小学部37名の皆様、中学部25名の皆様、合計102名の皆さん。そして、高等部入学の12名を加えますと114名の入園・入学生となります。おめでとうございます。

保護者の皆様ご入園ご入学おめでとうございます。また、本日よりの転入生の皆さん、転入を歓迎いたします。

本日4月2日現在の在籍園児・生徒総数が367名となりました。それだけ多くの夢や希望、願いがヒューストン日本語補習校に寄せられている事となります。それら夢や願いの実現のために、私たち教職員は懸命に尽力しなくてはならないと意志を新たにしていると

